

〈バスケットボール部 男子〉



〈ボート部〉



高校総体
各種大会

輝く瞬間



〈水泳部〉



〈柔道部〉



〈サッカー部 女子〉



〈陸上部〉

鳥東高通信

第 162 号

平成 27 年 7 月

編集・発行

鳥取東高等学校PTA
鳥取県立鳥取東高等学校

印刷

日ノ丸印刷株式会社



今、共に出来ることを。

PTA 副会長 清水奈緒美

本年度 PTA 副会長として、日々の小さな積み重ねと時間を何より大切に、皆さまと共に楽しみながら、自分らしく微力ながら活動に取り組んでまいりたいと思います。

東高 PTA の活動には、学校内外での多くの取り組みや活躍の紹介をする「文化広報部」、幅広く深い貴重な学びが出来る「人権教育部」。家庭と学校との協力の中でこそ行える心と体の健康を図る「健康・生活部」。自らの目で耳で感じ考える学びの場「研修部」があります。この中に、共に親として、今しか出来ない事、今だから出来る事があると思います。今を共に生きる子どもも大人も、必ず世界にたった一つのかけがえのない命を持った誰かの大切な存在です。そして、人はどんなに小さなことでも誰かの役に立ち、お互いを思いやる事で支えたり励ましたりすることが出来る、そう思っています。

この日常の中でこそ、まずは自分のそばにいる人を笑顔にすることが、大切な人のそして社会の幸に繋がっていく、そう信じます。私自身もまず、日々を「感謝の心」「笑顔」で過ごしていきたいと思っています。一年間皆さまのたくさんの「笑顔」に出会えますように…。



学校を今よりもっときれいに

教頭 原田 晋一

掃除をするとき、気づく人になれる、感謝の心が芽生える、心を磨くとかよく言われます。

掃除といっても、ほうきを持つているだけの生徒やとりあえず動かしている生徒、床を一生懸命に見つめ、少しのほりでもかき集めようとする生徒などやり方はいろいろです。掃除に対する意識の違いが出てくるのでしょうか。ほうきを使つての簡単な掃除なのですが、意識をもって取り組むことを繰り返すと床の少しの変化に気づくようになります。その気づきが生まれると誰かがきれいにしてくれたところにも気づき、感謝できるようになります。また、自分が掃除したところが汚れていたりすると悲しくなつて、なるべく汚さないようにと配慮できるようになります。

数回意識して掃除に取り組むだけではその変化に気づけません。何度も何度も繰り返し意識して掃除をすることによって気づくようになるのだと思います。昨日より今日、今日より明日、少しの変化かもしれません。毎日の掃除に対する意識を今以上に高め、取り組んでみてください。そうすれば学校は今よりもっときれいな学校になり、いろいろなことにもっと気づく人になれると思います。

平成27年度

PTA活動紹介

文化広報部

部長 網谷 憲治

文化広報部は、この「鳥東高通信」の発行を担当しています。学校の広報誌として保護者や生徒同士の情報交換に役立つとともに、同窓生の皆さんに現在の鳥東パワーを伝えることができるような紙面づくりをしたいと考えています。

「鳥東高通信」は年四回発行です。内容は、高校総体や東高祭のような高校生活における大きなイベントから進路・健康情報など様々です。

今年度の文化広報部は、例年に比べて部員が少ないため紙面づくりや情報収集が難しくなりそうです。保護者や生徒の皆さんに、原稿の執筆や資料提供をお願いすることもありますが、積極的に関わっていただきますようお願いいたします。

研修部

部長 稲村 潤一

PTA活動を含めた学校活動は、先生や一部の保護者に任せるのではなく皆でやるものだと思います。多くの皆さんの関わりにより、もっとよい鳥東高にしましょう。

研修部では、研修部員だけではなく、PTA各部部員さんの御協力もいただき、土曜日の自習室の開放・監督をしています。部活の前後や土セミで登校した日などに、生徒が気軽に立ち寄り、時間を有効に使って自学などができる環境を提供する一助としています。生徒の皆さんには、当番の保護者の方に気兼ねせず、どんどん自習室を活用してください。（冷暖房も使えますよ！）

また本年度も、保護者の皆さまに好評をいただいている、研修部のメイン事業でもあ

る「保護者のための進路セミナー」を、二・三年生保護者を対象として六月二十七日（土）に開催いたしました。一年生保護者向けには、文理選択の前となる一〇月三日の開催を予定していますので、皆さま多数ご参加ください。

また今年度研修部担当副会長として、昨年度研修部長でおられた清水副会長を迎え、経験を活かした助言をいただきながら、より一層生徒と保護者のニーズに合った活動に繋げたいと思います。

引き続き、先生方・保護者・生徒が二人三脚ならぬ三人四脚で足並みを揃え事業を実施していきますので、PTA活動に興味のある保護者の皆さま、来年度はぜひとも研修部へ！

健康・生活部

部長 山根 孝子

健康・生活部の主な活動内容は高校生さわやかマナーアップ運動への参加、学校保健委員会への参加、健康生活部主催の研修会の開催などです。昨年度は、「子どもへの支援の一つとして、食事と睡

眠から考えてみよう」と題して講話をいただいたあと、「親が子どもにできることは」をテーマにグループワークを行い、参加された保護者の方と有意義な時間を過ごすことができました。

今年度も子どもたちが心身共に健康で楽しく充実した学校生活を送ることができるよう活動したり保護者の方々の日頃の悩みの解決の場になるような研修を検討したりしていきたいと思っています。担当の先生方や副会長さん含め部員一同、意欲的で活気のあるメンバーばかりです。今年度の活動にご期待ください。一年間どうぞよろしく願います。

人権教育部

部長 小林 真紀

「いろんなあたりまえがある。自分と違う価値観の人と会い、その価値観をほぐしていったり、深めたり。」

昨年、参加させていただいた全国人権・同和教育研究大会で若者がいっていた言葉です。

人権教育部ではこれまでも

校則や体罰など身近なことから人権について話し合い・学習を深めてきました。

今年も自主学習会の開催を予定しています。さまざまなテーマで話す中で保護者のつながりもつくっていったらなあと思っています。

場所は「しのめ館」です。自主学習会等の日程案内が届きましたら、ぜひ参加をよろしく願います。皆さんとの出会いを楽しみにしています。



平成27年度 鳥取東高校PTA常任評議員

役 職	氏 名	ク ラ ス
会 長	宇 田 川 和 人	3 年 7 組
副 会 長	木 村 聖 治	3 年 2 組
副 会 長	間 屋 口 秀 明	2 年 2 組
副 会 長	田 淵 聡	2 年 1 組
副 会 長	清 水 奈 緒 美	1 年 6 組
監 査	荒 木 浩 司	3 年 5 組
監 査	横 山 茂	2 年 5 組
監 査	河 原 美 代 子	1 年 3 組
健康・生活部長	山 根 孝 子	3 年 2 組
健康・生活副部長	中 原 里 美	3 年 2 組
健康・生活副部長	平 井 美 和	2 年 1 組
健康・生活副部長	猪 口 和 子	1 年 6 組
研 修 部 長	稲 村 潤 一	2 年 6 組
研 修 副 部 長	谷 川 充 弘	3 年 6 組
研 修 副 部 長	大 坪 小 百 合	2 年 5 組
研 修 副 部 長	西 川 直 美	1 年 5 組
人 権 教 育 部 長	小 林 真 紀	3 年 3 組
人 権 教 育 副 部 長	根 本 文 子	3 年 1 組
人 権 教 育 副 部 長	奥 本 倫 久	1 年 1 組
文 化 広 報 部 長	網 谷 憲 治	3 年 6 組
文 化 広 報 副 部 長	影 井 利 成	2 年 5 組
文 化 広 報 副 部 長	小 林 茂 樹	1 年 4 組

新PTA役員



田 淵 聡 副会長
木 村 聖 治 副会長
宇 田 川 和 人 会 長
間 屋 口 秀 明 副会長
清 水 奈 緒 美 副会長

平成27年度 各種表彰者

PTA会長表彰

福井 悦生	副会長	(平成25・26年度)
志和 智恵	文化広報部部长	(平成26年度)
河野由美子	研修部副部长	(平成26年)
西村 聖子	健康・生活部副部长	(平成24・25年度)
	健康・生活部部长	(平成26年度)
奥根 朗子	健康・生活部副部长	(平成26年度)
中田 三巳	人権教育部部长	(平成25・26年度)
松尾 陽子	人権教育部副部长	(平成25・26年度)

県高P連会長表彰(表彰予定)

西村 隆義	監 査	(平成24～26年度)
-------	-----	-------------

クラス担任の 紹介



前列右より	2-1	岩 田 葉 穂	(英 語)
	2-2	山 口 陽 子	(理 科)
学年主任		安 治 誠 一 郎	(地歴公民)
	2-3	桐 林 一 広	(保健体育)
	2-4	中 田 一 幸	(英 語)
後列右より	2-5	松 田 浩	(数 学)
	2-6	磯 尾 朋 子	(国 語)
	2-7	漆 原 祐 一	(数 学)



前列右より	3-1	岡 本 尚 也	(英 語)
	3-2	小 屋 本 る み 子	(国 語)
学年長		瀧 下 英 樹	(国 語)
	3-3	桃 木 貴 子	(英 語)
	3-4	木 村 憲 之	(数 学)
後列右より	3-5	堀 内 誠	(理 科)
	3-6	本 庄 大 志	(地歴公民)
	3-7	矢 部 敦 子	(数 学)
	3-8	宮 脇 進	(数 学)

高校総体・各種大会 結 果

平成27年度鳥取県高校総体が、5月～6月に開催されました。鳥東高生の健闘結果をご報告いたします。
また、文化部の活躍もどうぞご覧ください。

高校総体の結果

部 名	男 女	種目及び選手名等	備 考
陸 上 競 技	男 子	細川 堯(3-7) やり投第6位	中国高校出場
		米井 潤風(1-7) 八種競技第6位	中国高校出場
	女 子	北脇 亮子(3-2) 800m優勝、1500m優勝	インターハイ出場
		安道 萌奈(3-1) 円盤投第6位、やり投第3位	中国高校出場
		三浦 菜穂(3-3) やり投第5位	中国高校出場
		北山 梨沙(2-4) 砲丸投第6位	中国高校出場
バスケットボール	男 子	優 勝(7連覇) 優秀選手賞 花原 悟(3-6)、岸本 浩暉(2-2)	インターハイ出場
	女 子	2回戦敗退(鳥取東61-64米子南) 太田 みく(3-4)・馬場里莉乃(3-4)は、和歌山国体出場	
バレーボール	男 子	ベスト8	
	女 子	ベスト8	
サッカー	男 子	ベスト8	
	女 子	優 勝	中国大会出場
バドミントン	男 子	団体2回戦敗退	
	女 子	団体2回戦敗退	
卓 球	男 子	団体3位	
		シングルス 中島 健輔(2-7)ベスト16	
		長尾 拓海(2-7)ベスト32	
		門河 紘希(3-7)ベスト32	
		ダブルス 玉谷 隆典(3-8)・門河 紘希(3-7)ベスト16	
		村上 和陽(3-5)・網澤 義春(2-6)ベスト32	
		三宅 雄太(3-7)・寺西 太一(3-7)ベスト32	
	女 子	団体2回戦敗退	
		シングルス 難波 彩香(3-4)ベスト32	
		田中 祥子(3-8)ベスト32	
		ダブルス 難波 彩香(3-4)・西山 夢華(2-7)ベスト16	
テニス	男 子	団体2回戦敗退	
	女 子	団体2回戦敗退	
ソフトテニス	男 子	団体ベスト8 ダブルス 塩谷 航平(3-2)・浦田 空(3-7)17位	中国大会出場
	女 子	団体ベスト8 ダブルス 吉村 千春(3-4)・上谷 理菜(3-7)17位	中国大会出場
ボート	男 子	舵手付クオドルプル 優 勝	インターハイ出場
		ダブルスカル 第5位	
		近藤 大樹(2-6) シングルスカル第2位	
	女 子	舵手付クオドルプル 第3位	
		ダブルスカル 第4位 上村 歩(3-2) シングルスカル第3位	
弓 道	男 子	団体予選不通過 個人1次予選通過者2名、2次予選通過者なし	
	女 子	団体予選不通過 個人2次予選通過者1名、決勝順位なし	
柔 道	男 子	団体3位	
		網谷 季昌(3-6) 81kg級 優 勝	インターハイ出場
		馬場隆之介(3-6) 90kg級 第3位	
		渡辺 諒(2-1) 66kg級 第2位	
		西尾 智樹(2-1) 73kg級 第3位	
	女 子	団体3位	
		徳田 彩希(3-1) 63kg級 第3位	
		木下あかり(3-3) 52kg級 第3位	
		中江 衣月(2-3) 48kg級 第3位	
		高橋 唯(2-3) 70kg級 第3位	



水	男子	総合1位(2連覇)	中国大会出場
		800mフリーリレー2位	
		村上 怜(2-3) 1500m自由形2位(400m自由形3位)	
		山口 遼也(2-7) 100mバタフライ3位(200mバタフライ3位)	
		田中 隼斗(1-5) 100m自由形3位(200m自由形3位)	
		400mフリーリレー3位、400mメドレーリレー3位	
		荒井 祥旭(3-4) 200m個人メドレー6位、400m個人メドレー4位	
		田住 駿介(3-5) 100mバタフライ4位、200mバタフライ4位	
		リ・ヴラディミル(3-7) 200m自由形7位	
		上紙 啓(3-8) 100m平泳ぎ4位、200m平泳ぎ2位	
		猪山 雅也(2-3) 400m個人メドレー3位、200m個人メドレー4位	
		木原 悠太(2-4) 100m背泳ぎ7位、200m背泳ぎ8位	
		青木 勇斗(2-7) 50m自由形4位、100m自由形5位	
		小林尚太郎(2-7) 100m平泳ぎ8位、200m平泳ぎ4位	
		西尾 太一(1-1) 1500m自由形8位	
		西川 佳希(1-1) 400m個人メドレー7位	
		日笠 鉄平(1-3) 100m背泳ぎ3位、200m背泳ぎ5位	
		柳澤 隼也(1-5) 100m平泳ぎ7位、200m平泳ぎ5位	
		垣田将太郎(1-6) 1500m自由形6位	
	女子	総合2位	中国大会出場
		400mフリーリレー2位	
		瀧山 美樹(3-1) 100m背泳ぎ3位(400m個人メドレー4位)	
		吉村 真子(2-3) 100mバタフライ1位(200mバタフライ1位)	
		吉田 百穂(2-4) 200m自由形1位(100m自由形3位)	
		400mメドレーリレー2位	
		中尾 千華(3-4) 100m自由形6位、200m自由形4位	
		土肥 瑞穂(2-4) 100m平泳ぎ4位、200m平泳ぎ4位	
		安本 彩花(1-3) 100m平泳ぎ3位、200m平泳ぎ3位	
		瀧山 美紗(1-5) 200m個人メドレー6位	

高総文祭等の主な成績

部 名	大会名等	種目及び選手名等	成 績	備 考
書 道	第8回全国高校生書道パフォーマンス選手権大会		予選通過	全 国 大 会 (本 選) 出 場
吹 奏 楽	鳥取県高等学校総合音楽会	【ソロ部門・ピアノの部】 太田 穂花(3-1)	最優秀賞	
放 送	NHK杯全国高校放送コンテスト 鳥取県大会	【アナウンス部門】 岸本 真央(2-6)	優秀賞	全 国 大 会 出 場
将 棋	全国高校竜王戦鳥取県予選	垣屋 晴紀(2-3)	第3位	
		新田 翔平(3-5)	ベスト8	
演 劇	鳥取県東部地区高等学校演劇発表会		最優秀賞	県 大 会 出 場



進路部から保護者の皆様へ

進路部長 竹島 一郎

2014年度進路状況の概要

まず昨年度の進路状況について、その概要をお伝えします。

進学については、鳥取大学の五十三名、鳥根大学十三名をはじめとする国公立大学百六十五名(昨年度：百五十七名)、私立大学四百七名(同：三百四十三名)、短大三十九名(同：三十二名)、専修学校等六十五名(同：七十二名)という合格者数でした。(表1参照)

表1. 2015(平成27)年度入試合格者内訳

		3年	既卒	計
内 訳	卒業生数	313		
	延合格者数	401	275	676
	大 学			
	国立	74	50	124
	公立	30	11	41
短 大	私立	208	199	407
	短大	36	3	39
	専修学校等	53	12	65

国公立大学の合格者数の内訳は、現役生百四名、既卒生六十一名でした。センター試験の平均点はここ二年間よりはやや上がりましたが、新課程入試の初年度ということもあり、特に理数において厳しい状況ではありましたが。

一方、旧帝大をはじめとする難関国公立大学については、北海道大一名、大阪大一名という結果でした。現役生・既卒生ともに、志望を高く持ち、早くから努力を継続してきた生徒が合格を勝ち取っています。

私立大学の合格者は四百七名(現役二百八名・既卒生百九十九名)と既卒生を中心に難関大学を含め増加しました。このところ私立大学全体では、志願者数が横ばいの中で合格者数は増加しており、一部の大学を除いて入試の難易度は低下傾向にあります。自分の目標を高く持ち、志望校の選定を行うこと、安易な出願・受験をしないことが大切だと思います。

また、主な私立大学の合格者については、慶応大一名、青山学院大三名、明治大三名、関西大十三名、関西学院大九名、同志社大十五名、立命館大二十八名という結果でした。短期大学の合格者数は三十九名でした。短期大学も一部の学科を除き入りやすくなっていることから、慎重な学校選びが大切です。

専修学校・各種学校については、看護系への進学が大半ですが、その他、様々な実学系の学校にも進学しています。専修学校や各種学校を志望される場合、短期大学にもましてしっかりとした検討が必要です。その学校の内容が自分の考えているものと合致しているか、体験入学などを利用して複数の学校を見学し、比較検討した上で決めることが大切です。

就職の結果は、表2のとおりです。表中の公務員は、具体的には、警察官、消防士、自衛官です。大変よく努力し、念願の職種への就職を果たしました。本年度も、授業への取り組みを大切にしながら、公務員用の問題集や適性検査の練習に早くから取りかかる必要があります。また、当然のことながら、就職を希望する場合は、民間企業でも公務員でも、学習面はもとより実社会で必要とされる知識やマナーを身につけるべく日頃から生活することが大切です。

2015年度の進路志望状況

表2. 就職状況

職 種	
公務員	5
郵 政	
金融・保険	
電力	
卸・小売	2
製造	
建設	
その他	1

今年度の各学年の進路志望状況(四段階)は表3のとおりです。例年同様ほとんどの生徒が四年制大学を志望しており、その大半が国公立大学を志望しています。

具体的な進路目標を持つことは、日々の学習や受験勉強を継続する上で心の支えとなります。一年生はこれから文系・理系・理数のコース選択が待っており、二年生では具体的な志望校のリストアップや入試科目・難易度の検討が必要で、三年生では大学入試センター試験や志望校の入試問題の研究を行っていく必要があります。

そうした意味でも、夏季休業期間中は進路を考える上で大変よい時期です。お子さんが本当にどのようになりたいのか、興味・関心があるのか、将来どのような職業に就きたいのかなど、親子でじっくりと話をしてみてください。

またこの期間に、大学・短大・専修学校などで体験入学やオープンキャンパスが実施されます。実際に参加して自分の目で確かめるのも、決意を固める意味でもよい契機になると思います。遠くの学校の場合は費用もかかって大変ですが、一度、御家族で検討されてはいかがでしょうか。

一学期に学習した内容を確認し復習に取り組むことで、今まで理解できていなかった点をわかるようにできる期間です。そのためにも生活時間の計画を立て、規則正しい生活を送ってもらいたいものです。ただし、ある程度ゆとりを持った計画を立てるのがよいと思います。いろいろな盛り込みすぎて計画倒れになるよりは、できたという満足感をもって二学期を迎えて欲しいと思います。

今年度進路部担当者

最後になりましたが、今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。

第一学年：薩 雄也(二年二組担任)
木下 和成(二年七組担任)
第二学年：中田 一幸(二年四組担任)
漆原 祐一(二年七組担任)
第三学年：本庄 大志(三年六組担任)
矢部 敦子(三年七組担任)
進路部専任：竹島 一郎(進路部長)
松本 憲幸(就職)
山根 伸也(進学)
澤田 基成(企画)
朝倉 正雄(情報)
圓井 恵子(庶務)

夏季休業期間中の学習について

夏季休業中は、例年実施している補講やセミナー、加えて三年生では夏期サテライン講座を計画しています。こうした企画を上手に活用していただき、充実した夏休みを過ごしていただきたいと思っています。実際、現役で合格を手にした多くの生徒はこうした学校の企画を積極的に活用していました。この期間、三年生は受験に向けて自分の弱点を補強する絶好の機会です。また一・二年生においても

栄冠を勝ち取るために
自習室を積極的に活用しよう!



自転車はルールを守って安全運転を

昨年の本校の自転車事故は18件、毎年20件程度の件数が上がっています。2009年1月には境港市の市道で、市内の男子高校生（16歳）が乗っていた自転車と、歩いていた71歳の女性がぶつかり、女性は死亡しました。この事故は当時雨が降っており、傘差し運転をしていた男子高校生が夜道を急いで自転車を運転していたことが原因だといわれています。

平成27年6月1日より、交通の危険を生じさせる違反を繰り返す自転車の運転者には、安全運転を行わせるための講習の受講が義務付けられます。（子どもでも14歳以上が対象）

例えば「信号無視」「一時不停止」「遮断踏切立ち入り」など14項目の違反が交通の危険を生じさせる違反となり、これらの違反を3年以内に2回以上繰り返す自転車利用者に講習の受講を義務づけ、未受講者には罰金刑が適用されます。

平成19年に「自転車安全利用5則」とこの「改正道路交通法」の一部施行と依然として減らない自転車事故で罰則も強化されてきているのが現状です。

交通ルールを守り、安全な運転を心がけるよう努めましょう。

違反内容	罰則
1 傘さし・携帯電話使用	5万円以下の罰金
2 警音器を備え付けていない	
3 ヘッドホン等の使用	
4 二人乗り	
5 無灯火運転	
6 他の自転車と並進	2万円以下の罰金 または料科
7 信号無視	3ヶ月以下の懲役 または5万円以下の罰金

（参考：鳥取県警察HP「自転車の安全利用の促進」）

自転車安全利用五則を守りましょう。



① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別があるところは車道通行が原則です。



② 車道は左側を通行

自転車は、道路の左側に寄って通行しなければなりません。



③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



④ 安全ルールを守る

■飲酒運転は禁止



■二人乗りは禁止



■並進は禁止



■夜間はライトを点灯



■信号を守る



■交差点での一時停止と安全確認



⑤ 子どもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



（警察庁HP「自転車広報用チラシ」）



19日 土	18日 金	15日 火	◇ 12月	24日 火	◇ 11月	28日 水	24日 土	14日 水	◇ 10月	29日 火	26日 土	9日 水	1日 火	◇ 9月	28日 金	24日 月	17日 月	3日 月	◇ 8月	27日 月	25日 土	24日 金	21日 火	◇ 7月
冬季休業開始	二期終業式	PTA懇談会〈午後〉〈17日〉		期末考査〈27日〉予定	土曜セミナー〈全〉	校内模試・実力テスト〈29日〉	二年研修旅行〈16日〉	土曜セミナー〈全〉		中間考査〈2日〉	土曜セミナー〈全〉	校内模試・実力テスト〈10日〉	東高祭〈3日〉		日中交流事業〈9月1日〉	二期始業式	夏期補講〈全学年〉〈21日〉	サテライン講座〈22日〉		夏期補講	夏季休業開始	一期終業式	PTA懇談会〈午後〉〈23日〉	

行事予定



自分の描く自分の姿

一三 岡崎 礼奈

勉強と部活の両立ができ、礼儀正しく、毎日充実した生活を送っている。それが、私が昨年参加した体験入学、そして東高に通っている姉や先輩方を見て感じたことであり、憧れてきた姿だ。私はそんな「東高生」になれているだろうか。中学校とは違って授業は進むスピードが速く、内容は掘り下げたものへとなり、部活動は体力も瞬発力もあるハードなメニューがたくさんあり、何もかもが今までとは全く別の環境へと変わり、戸惑いや厳しさを感じることも多い。しかし、その分やりきった後の達成感や喜び、休憩の短い間、先輩方や友だちと過ごす楽しさを実感することも多くなった。

私は、いろんな面で自分に妥協してしまっているところがあるので、自分にもっと厳しくありたいと思う。部活や通学で疲れているからと後回しにせず、一時間弱ある通学の汽車の時間を有効に使って勉強すること。部活中きつくても、逃げずに全力で一つ一つのプレーに取り組むこと。この二つはきちんとやり遂げたい。

そして、私が東高に通えていること、勉強や部活に全力で取り組めることは周りの人の支えがあつてこそなので、常に感謝の気持ちを忘れないでいたい。そして、それを、行動やあいさつで表せたいと思う。

三年後、東高に来てよかった、すべての事に全力で取り組めて、楽しかったと思えるように、毎日努力していきたい。

自分の道を進め

一年 P 原田 恭子

年が明けバタバタと過ごし、ようやく迎えた春、念願の東高生となった我が子。三つ違いの弟がいるため、(どちらか今年一年生)弟の提出書類に姉の名前を書いてしまったりと、母は相変わらずバタバタしていたがようやく最近落ち着いてきました。

入学式後の部活動の熱烈勧誘には大変おどろかしました。先輩方の楽しそうな姿に、先生方が説明会等で、「生徒たちが学校生活を楽しくしている」と何度か言われていたとおりだな、と感じました。娘も例にもれず部活に毎日汗を流し、高校生活を楽しむことでしょう。

これから過ごす日々の中で、自分の進むべき道を決めなければなりません。決断のために努力が必要です。迷う事もあるでしょう。その時、一緒に過ごしてきた先生方や友人が力になってくれる事を願っています。もう、親が助けてやれる事は少ないのかも知れませんね。

娘よ、力いっぱい楽しめ。(勉強も力いっぱいお願いしますよ)

鍛錬千日の行

二一三 井上 ゆい

「鍛錬千日の行、勝負一瞬の行」ある人の有名な言葉だ。

人によって様々な意見があると思うが、自分はこの言葉にはこういう意味があると思う。「自分は努力している、自分は頑張っている」と今の自分に満足しては勝てない。」私は

バレー部であり、五月末総体があつた。練習量は誰にも負けてないと思つたが、プレーには全く自信がなく、結局最後まで自分の役割を果たせずに終わった。それは今までの練習で淡々とただ時間と量だけをこなして、そんな自分に満足していた結果だと思つた。私はこれだけやってきたのだから大丈夫！と思えるところまで持っていくのが日々の練習である。試合は緊張し追いつめられる。そんな中、勝ちたいのなら練習をし努力をし続けることしかない。

これらのことは部活に限らない。努力という言葉は簡単に使われるが、「自分は努力している」と思っているうちは、それは努力とは言わないと思う。「冥々乃志」という四字熟語があるが、努力とは人に知られないところで熱心にするこである。そんな努力という言葉の意味が「鍛錬千日の行、勝負一瞬の行」にあると私は思う。

私は泥臭く恰好つけずに努力できるような人になりたい。そして同じ失敗は繰り返さない。

息子の部活動について 思うこと

二年 P 太田 正樹

息子は、小中高とずっとバスケット部の学校生活です。

ミニバスを始めた頃は、友達みんながやっているからでいつまで続くことやら、と思っていました。今でもバスケットを続けています。

自分も学生時代、部活動はしていましたが、野球、バレー、羽球と一貫性は無く、ずっとバスケットを続けている息子に対して、ほんの少しだけ尊敬をしています。

高校受験で進路を決める際、「東高に行つてバスケット部に入りたい。」と聞いた時は、(鳥取東のバスケット部は、スラムダンクで言えば王者・常勝「海南」)。そんなところでやっていけるのか

か息子よ。)と心配しましたが、現在、本人はのんきに部活動が続けています。楽しいだけの部活ではないはずですが、しかし、今までもそうでしたが、高校でも、良き先生(指導者)、同級生、先輩、後輩に恵まれているのでしょ、部活動を楽しんでいる様子です。

東高に入学して、あつと言う間に一年半が過ぎました。三年間もあつと言う間に過ぎました。好きで続けているバスケットなら、後悔のないよう思いっきりやってほしいと陰ながら応援しています。(自宅ではゲームをしているか、ばーつとしてるか、寝ている姿しか見ませんが、実は親には内緒で秘密特训をしていることを期待しつつ)。

部活から学んだこと

三一三 塩谷 航平

僕は東高に入ってからずっと部活でソフトテニスをしています。僕は日々練習をし、たくさんの試合を経験した中で一番成長した試合があります。それは三年生になったからの東部総体の個人戦の試合です。その試合の前には、高校最後の東部総体だから悔いが残らないように思いっきりやろうと考えただけで、あとはいつも通りだったのですが、よい緊張感の試合の中で全力でプレーすることができ、準優勝という成績を残すことができました。

その日の大会が終わる、家に帰ってから試合のことを思い出そうとしても、その試合の時に考えていたことやどんなプレーをしたのかをほとんど覚えていませんでした。そこで僕は、自分がどれほどまで集中していたのかに気がついて驚きました。僕はこの試合で今まで一番の集中を経験することができたと思います。

僕は県大会でベスト二十四に入ることができたので、次は中国大会に出場します。次の大会までの残り時

間は少ししかありません。残りの時間は今まで通り日々の練習をがんばることはもちろん、高校の部活で経験してきた気持ちや学んだ技術を少しでも後輩に残したいです。

三年間の部活で学んだことは自分の成長につながっています。このような経験は今後のいろいろな場面でも必ず役に立つと思うので、今度の大会で一勝でも多くできるよう精一杯頑張ります。

我が家の子育て論

三年 P 木村 聖治

我が家は、六人の子どまがおり、上の三人はすでに社会人として自立しています。子どもたちは六人それぞれ個性があり、失敗と反省を繰り返しながら子育てをしてきました。

子どもが多い分、子育てに関わる期間が多く、親として成長できたように感じます。子育てでいつも実践してきたことは、甘やかし過ぎず、少し不自由な思いをさせることです。甘やかさないことで、子どもたちが反発されることもありましたが、辛抱強く、困難に打ち勝つ強い精神力と、自立する力を身に付けさせてやるためと思い、子どもたちを育ててきました。今では、長男と次男は家庭を持ち、自分に子どもが生まれてから、なぜ、お父さんは自分たちを甘やかさなかったのか、理由が分かるようになったと言ってくれるようになりました。子どもを甘やかさないことは、親にとっては勇気のいることですが、親としては友達ではありません。子育ての時期は、子どもに嫌われてもいいのです。子どもは自分が親になれば分かる時が必ずきます。この先も信念を曲げることなく、あと三人の子育てを頑張ろうと思います。すべては、子どもの「自立と成長」のために。